

大学

学部

- 政経学部
- 体育学部
- 理工学部
- 法学部
- 文学部
- 21世紀アジア学部
- 経営学部

大学院

- 政治学研究科
- 経済学研究科
- 経営学研究科
- スポーツ・システム研究科
- 救急システム研究科
- 工学研究科
- 法学研究科
- 総合知的財産法学研究科
- 人文科学研究科
- グローバルアジア研究科



現存する1919年に建てられた大講堂（世田谷キャンパス）

平成25年度 大学の学年暦

平成25年	
4. 1 (月)	4月入学者学年開始
4. 1 (月)	4月入学式
4. 2 (火)	4月新入生オリエンテーション及び履修登録
4.10 (水)	↓
4. 2 (火)	学生定期健康診断期間
4.10 (水)	↓
4.11 (木)	春期授業開始
7.24 (水)	春期定期試験
7.30 (火)	↓
7.30 (火)	春期授業終了
7.31 (水)	夏季休業
9.22 (日)	↓
9.15 (日)	9月入学者学年終了
9.20 (金)	9月卒業式
↓	
9.16 (月)	9月入学者学年開始
9.17 (火)	9月入学者オリエンテーション及び履修登録
9.19 (木)	↓
9.20 (金)	9月入学式
9.23 (月)	秋期授業開始
9.26 (木)	学生定期健康診断（9月入学生のみ）
10.19 (土)	鶴川祭（10月19日町田キャンパスのみ休講）
10.20 (日)	↓
11. 2 (土)	楓門祭（11月2日世田谷キャンパスのみ休講）
11. 3 (日)	↓
11. 4 (月)	創立記念式典
11.16 (土)	多摩祭（11月16日多摩キャンパスのみ休講）
11.17 (日)	↓
12.23 (月)	冬季休業
↓	
平成26年	
1. 5 (日)	↓
1.23 (木)	秋期定期試験
1.29 (水)	↓
1.29 (水)	秋期授業終了
3.20 (木)	3月卒業式
3.25 (火)	在校生ガイダンス
3.31 (月)	↓
3.31 (月)	4月入学者学年終了

学長挨拶



国士館大学 学長
三浦 信行

みうら・のぶゆき

1942年宮城県生まれ。1971年国士館大学大学院政治学研究科政治学専攻博士課程修了、1972年政治学博士（国士館大学）

1971年本学に奉職。1984年政経学部二部教授、1987年から1992年まで同学部学部長、1992年から1994年まで国士館大学兼国士館短期大学副学長、1994年から2003年まで国士館大学兼国士館短期大学学長、同年学校法人国士館理事 2003年学校法人国士館教学顧問

2012年12月国士館大学学長に就任。同年学校法人国士館理事、同評議員

このほか、2009年から世田谷区特別職報酬等審議会会長、2011年から日本法政学会理事長、2013年からみやぎ絆大使

専門は政治学

国士館大学の源流は、創立者・柴田徳次郎が1917年、東京・麻布の地に人材育成の教育道場を創設したことに由来します。吉田松陰の精神を範とする創立者らは1919年、松陰神社に隣接する現在の世田谷に拠点を移しました。爾来、96年を経て、いまや12万を超える卒業生を社会に送り出す総合大学へと大きく発展しました。

国士館の「国土」とは、「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材」であり、本学は「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目を兼ね備える教育を理念とし、社会のリーダーたる国土の養成を目指しています。

創立100周年の佳節を4年後に迎えるにあたり、2008年世田谷キャンパスに梅ヶ丘校舎を新設するなど、記念整備事業は着々と進展しており、2013年4月に複合施設「メイプルセンチュリーホール」を開設いたしました。「心と体の健康」がテーマの体育施設と文化施設が融合した新しい学舎で、学生諸君には心身ともに豊かな時間を過ごしてほしいと願っています。

さて、混迷の様相を深くする今日、受験世代人口の減少による「大学淘汰」の波は、生き残りをかけた大学改革を要請しています。多様な学生を受け入れる大学にあって、学士課程の入口では教育の質を保証するシステムの再構築、出口ではキャリア教育をはじめ、生涯にわたり学び続け、主体的に考える力をもった人間力の育成が強く求められています。

そこで、時代の変化に鋭敏かつ迅速に対応する効果的なガバナンスのもとに未来への確固たる礎を築くため、次の二点を軸に改革に取り組みます。第一に、グローバル化時代のいまこそ、創造性と活力みなぎる若き人材群を、吉田松陰に有縁のこの地より、日本のみならずアジアや世界へと輩出します。

第二に、社会変化に応じた魅力あふれる学部ならびに大学院教育を再構築するため、既存の学部等の改革と教育・研究環境の充実を強力に進め、本学の将来構想の具体化に向けた改革プログラムを多角的に実行します。

本学の輝かしき歴史と伝統を堅持しつつ、進取果敢の精神で次なる100年に向けた創造的かつ持続可能な未来を切り拓くため、教職員が一体となった教学主導の責任体制を確立していく所存です。

東日本大震災は、被災地に多くの犠牲をもたらしました。本学の教育・研究の成果を復興支援に役立てることは、「世のため、人のために為す」ことを教育理念に掲げる国士館の使命と考えます。これからも次代を担うたくましい人材を輩出するべく全力で取り組んでまいります。